

キャンパス名	千葉キャンパス				
授業番号	10886001				
授業名	ミクロ経済学	形態	講義	単位	2
担当教員	芹澤 高斉				
開講学期	2018年度 前学期	曜日・時限	金曜2限		
授業目的	ミクロ経済に関する基礎理論を理解し、それをもとに政策課題の解決に接近する。				
授業内容	日われわれが直面する経済問題に対する課題解決を考えるにあたって、ミクロ経済学が果しうる役割について理解する。そのために、ミクロ経済学の基礎理論を理解し、それによって経済問題にどのようにアプローチできるのかについて考察する。				
到達目標	ミクロ経済学の基礎理論を理解する。 ミクロ経済学で考察できる経済問題において課題を抽出し、その解決に向けた政策を理解できる。				
ディプロマポリシーとの関連性	<コDP2-(1)> コミュニティ政策学の基礎的かつ専門的な知識・技能を体系的に身に付けている。				
授業形態	講義形式で授業を行う。リアクションペーパーを活用したアクティブラーニング型の授業形態を採用入れる。				
事前・事後学習の所要時間	各授業回で平均2時間の事前学習および事後学習を必要とする。合計15回の授業で事前学習合計30時間、事後学習合計30時間となる。				
テキスト	神取道宏『ミクロ経済学の力』日本評論社				
評価方法	授業参加姿勢（リアクションペーパー・小テスト）、事後学習課題、および授業内で行う確認テストで総合評価する。				
評価基準	授業参加姿勢：30%、事後学習課題：30%、確認テスト：40%				
試験・レポート等のフィードバック	授業内試験の結果は、授業内で返却・解説を行う。				
注意事項及び履修条件	事前・事後学習にきちんと取り組むこと。				
S：100～90、A：89～80、B：79～70、C：69～60、D：60未満					
第1回					
事前学習	公開されたシラバスを読み、授業の目的と到達目標、評価方法、および評価基準を確認する。				
授業内容	この授業についてのガイダンスを行う。特に、「授業目的」、「授業内容」、および「到達目標」について詳しく説明する。また、テキスト第1章の解説を行い、経済学でどのような問題を考えているかを理解する。				
事後学習	第1回の授業内容を振り返り、概要をまとめる。				
参考文献					
第2回					
事前学習	序章を読み、経済学の目的と方法の理解を試みる。				
授業内容	ミクロ経済学の方法を事例をもとに理解する。 経済学における実証的アプローチと規範的アプローチについて理解する。				
事後学習	序章を読み、授業内容を確認する。				
参考文献					
第3回					
事前学習	テキスト第1章の1.1～1.3を読み、最適消費について理解を試みる。				
授業内容	消費者の最適化行動としての効用最大化行動について、定式化と図解に重点を置いて理解する。				
事後学習	消費者の効用最大化行動がどのように定式化されるかについて、式と図を用いてまとめる。				
参考文献					
第4回					
事前学習	テキスト第1章1.5を読み、最適消費の条件がどのようなものであるか考える。				
授業内容	市場価格と所得を所与として、消費者の効用最大化を達成する最適消費における条件について考察する。				
事後学習	数学モデルを用いて、最適消費の条件について確認する。				
参考文献					

第5回	
事前学習	テキスト第1章1.9を読み、価格変化が生じた場合に、最適消費がどう変更されるかについて、理解を試みる。
授業内容	価格変化により生じる実質所得と相対価格の変化を明らかにして、それらによる消費の変化について考察する。
事後学習	授業内容について、図を用いて整理する。
参考文献	
第6回	
事前学習	テキスト第2章2.1を読み、経済学における企業のとらえ方を理解する。
授業内容	企業の利潤最大化行動について、生産要素が一つの場合を取り上げて考察する。利潤最大化条件を導出する。
事後学習	数学モデルを用いて、企業の利潤最大化について整理する。
参考文献	
第7回	
事前学習	生産要素が2つに増えた場合、企業の生産において考慮すべき点を列挙する。
授業内容	企業の利潤最大化行動について、生産要素が二つの場合を取り上げて考察する。利潤最大化条件を導出する。
事後学習	数学モデルを用いて、企業の利潤最大化について整理する。
参考文献	
第8回	
事前学習	第3章3.1を読み、部分均衡分析がどのようなものか、理解を試みる
授業内容	消費者の効用最大化行動から市場の需要曲線を導出し、企業の利潤最大化行動から市場の供給曲線を導出する。そして、市場均衡を分析し、資源配分の効率性について考察する。
事後学習	第1回から第8回までの授業内容について理解を確認する。次回、確認テストを行う。
参考文献	
第9回	
事前学習	テキスト第4章を読み、市場の失敗とはどのような状態を示すか、理解する。
授業内容	市場の失敗とその原因について理解する。外部性と公共財の場合を取り扱い、市場の失敗の原因と対策について考察する。
事後学習	テキスト第4章を読み、市場の失敗とその対策について理解を確認する。
参考文献	
第10回	
事前学習	市場が一社によって独占されるとき、生じる弊害について考える。
授業内容	独占市場における企業の行動について理解する。その均衡における問題点とその解決について考察する。
事後学習	練習問題を解き、復習を行う。
参考文献	
第11回	
事前学習	テキスト第6章6.1を読み、ゲームとは何かについて考える。
授業内容	ゲームの理論とその均衡について理解する。また、その近郊における社会的な利益について考察する。
事後学習	いくつかのゲームについてその均衡を求め、社会的利益について考える。
参考文献	
第12回	
事前学習	ゲームの理論において時間が導入され、戦略の提示に先手、後手のような順番がある場合に、結果がどう変わるかについて考える。
授業内容	ゲームにおいて時間的要素を考慮した展開型ゲームの均衡とプレイヤーの選択について理解する。
事後学習	テキスト第7章を読み、時間を通じたゲームの戦略とその信頼性について理解を確認する。次回の授業における確認テストに向けて、第9回から第12回までの授業内容を確認しておく。
参考文献	
第13回	
事前学習	テキスト第8章を読み、経済に不確実性が存在する場合、どのような問題が生じる可能性があるかについて考える。

授業内容	不確実性の経済学Ⅰ：保険とモラルハザードについて理解し、その対策について考察する。
事後学習	テキスト第8章を読み、モラルハザードがなぜ生じるか、それに対してどのような対策が考えられるかをまとめる。
参考文献	

第14回	
事前学習	テキスト第9章を読み、逆選択とはどのような現象化を理解する。
授業内容	逆選択について理解し、その問題点と解決策について考察する。また、労働市場を例とした、ケーススタディを行う。
事後学習	逆選択について、中古車市場を例にして、それが生じる条件を整理する。
参考文献	

第15回	
事前学習	消費者の効用最大化行動と生産者の利潤最大化行動について確認する。
授業内容	エッジワースのボックス図を利用して、一般均衡と厚生経済学の定理について理解する。
事後学習	テキスト第3章3.3を読み、一般均衡分析について図を用いてまとめる。
参考文献	

※この他に試験が実施される場合があります。担当教員の指示に従ってください。

ディプロマポリシー	<p><コDP-2> 【コミュニティ政策学分野における知識・技能・態度】 コミュニティ政策学に関する考え方及び基礎知識・技能を体系的に理解し、地域がもつ課題の解決にあたる意欲、能力を身に付けている。</p> <p><コDP2-(1)> コミュニティ政策学の基礎的かつ専門的な知識・技能を体系的に身に付けている。</p> <p><コDP2-(2)> 講義科目で学んだ専門的な知識とサービスラーニング活動を通じて得た実践的な経験を統合し、課題解決に必要な知識や技能を身に付けている。</p> <p><コDP2-(3)> 地域社会の多様な場において、コミュニティ形成の中核を担う職業人としての態度・志向性を持っている。</p>
-----------	---